

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第25号（令和6年9月2日）

さあ2学期！！

43日間の長い夏休みを終え、いよいよ2学期が始まりました。9月2日（月）の始業式で話したことを載せます。むずかしいところもあると思いますが、おさらいをしましょう。

① なつやすみがおわりました

○みんな無事……………大きな病気やけがをしたり、事故などに巻き込まれたりすることなくこの日を迎えられたということが1番嬉しいです。
長い夏休みだったので、一人一人、いろいろな思い出ができたでしょうし、様々なことができたと思います。

※生活リズムを元に戻すこと、いろいろな話をしてほしいことは、学校だより第24号に書いたので、ここでは省略します。

②2がっきにがんばってほしいこと

元気ですごそう

友だちと仲良く
すごそう

はもちろんですが、そのほかに

②2がっきにがんばってほしいこと

自分との約束
をがんばろう



何でやるのか
【目的】
何をやるのか
【目標（めあて）】
PDCA
サイクル
次、どうする
【改善】
できたか、できな
かったか、その理由
【ふり返し】

やってみる
【実践】

2学期の
目標づくり

頑張ったら届きそう
な少し高めの目標を
立てよう



② 2がっきにがんばってほしいこと

さあ2学期です。様々なことを自分や学級でがんばった結果、みなさん一人一人にいっぱい思い出ができればうれしいです。そこで私から【元気ですごそう】【友だちと仲良くすごそう】はもちろんですが、そのほかにがんばってほしいことを2つ、話します。

1つ目は【自分との約束をがんばろう】です。

自分で決めたことをしっかりとがんばりましょう。そのためにはまずは目標づくりです。2～6年生は1学期にも行いました。（1年生は2学期から行います）2学期に「こんな自分になろう」「そのためにこれをこれだけがんばる」というような目標づくりをしてもらいます。これがみなさん一人一人が自分で決めた自分との約束です。

1学期にも話しましたが、一人一人が立てた目標をやってみて、振り返って、次どうするかを考えて、また目標（めあて）を立てる…なぜするのかというと、これを繰り返すことで、できることが増え、成長していくと考えているからです。近いうちに2学期の目標を立てると思います。がんばったら届きそうな少し高めの目標を立てましょう。そして、おうちの方にもはなしてみましよう。きっとおうえんしてくれると思います。

個人懇談でうちの方に目標・振り返り
を見てもらった結果……

- 体調が悪い日以外は子どもが立てた目標（音読や計算カードを家で頑張る）を本当にやっていました。
- 家での姿とは違って、学校では頑張っているんだなと安心した。
- 家でも「学校でこんなことを頑張っているんだ」とよく話してくれる。
- 自分のことをちゃんと振り返っていてびっくりした。

- 自分が毎日、子どもに言っていることが伝わっていて嬉しい。
- 振り返りの「なぜ～」のところが論理的に書けていたことに感心した。
- そういえば最近、近所の人にあいさつしたり、自分で起きたりしていた。この目標にしていたからなんだと知ることができた。
- 家でも意識して頑張っていた。

目標を心がけている人・おうちの方にもはなし
をしている人が多くなった。

この目標づくり（学期はじめ）とふり振り返り（学期おわり）の取組でうれしかったことがあります。

それは7月の個人懇談でのことです。

担任の先生からおうちの方に、「お子さんは、こんな目標を立てていました」「お子さんの振り返りはこうでした」などのお話をするとおうちの方がいろいろなお話をされました。（今回は2～6年生でした。1年生を含めて12月の個人懇談でまたお話ができればと思います）

それらを担任の先生から聞くと【目標を心がけている人】【おうちの方にも自分の目標について、話をしている人】が多くなったことや【おうちの方も目標を知っていて、しっかり見てくれている、おうえんしてくれている】ことがわかり、うれしかったです。

② 2 がっきにがんばってほしいこと
ふり返り

授業

何でやるのか
【目的】

次、どう
【改善】

授業

実践

よかったか、その理由
【ふり返り】

② 2 がっきにがんばってほしいこと
2 つ目は【ふり返り】です。

さて、目標づくりでも説明した図は授業にもあては
まります。その中の大切な【ふり返り】について、2
学期からポイントなどが少し変わります。

ふり返りは何のためにする？

授業の中で、自分の学びを ふり返り
音で広げて、文字で刻む

その授業での自分の学びがどうだったのかを
はっきりさせ、これからに生かすため
見通しがもてたり、昔の自分と比べて、成長
ぐあいを知ることができたりする

ふり返りはどんなことをする？

- 自分の学びをたしかめる
- 自分の学びとくらべる
- 自分の学びをつなげる

私が考える ふり返りの3つの視点

○ふり返りは何のためにする？

授業で、みなさんは、先生の話や友だちとの対話などの【音】
を通して、新しいことを知ったり、考えを広げたり、深めたりし
ています。それを文字でノートやクロムに書いています。

【音で広げて、文字に刻む】は文部科学省初等中等教育局 主
任視学官 田村学氏のお言葉から引用しています。

ふり返りは、「楽しかった」「面白かった」などの感想や「な
んとかうだった」というぼんやりしたものではなく、その授
業で知ったことや考えたこと、新たな発見などの自分の学びがど
うだったのかをはっきりさせるために文字で書いておきます。

それらはがんばることの見通しがもてたり、前（1か月前、半年前、1年前）
の自分と比べて、成長ぐあいを知ることができたりします。

ふり返りはどんなことをする？	ふり返りはどんなことをする？	ふり返りはどんなことをする？
○自分の学びをたしかめる その授業で【わかったこと・わからな かったこと】【できたこと・できなかった こと】などを整理してはっきりさせる ことで「次、どうするか」が考えやす くなる。	○自分の学びとくらべる その授業で考えたことと前の自分や友だ ちの考えとくらべることで、考えが広 がったり、深まったりする。	○自分の学びをつなげる その授業で学んだことを前に習ったこと とや経験と結び付けたり、自分の生活や 将来と結び付けたりすることで、「なる ほど」と深くわかるようになる。
自分の学びをたしかめる その授業で自分が【何が わかって、何がわからな かったのか】【質問したいこ と】などを整理して、はっ きりさせることで、「もし たら次は○○がわかるよ うにしよう」「今日の自主勉 強は○○をもう一回やっ てみよう」などが考えやす くなり、見通しがもてるよ うになります。	自分の学びとくらべる その授業で考えたことと 「前はこう考えていた」な どの前の自分の考えや友だ ちとの対話を通して「○○ さんはこう考えている」な どの友だちの考えとくらべ ることで、自分の考えの 変化や新たな発見に気づき、 考えが広がったり、深ま ったりします。	自分の学びをつなげる その授業で学んだことを 「これを解くために前に習 った○○を使った」などの 前に習ったことや自分の 経験（見たり聞いたり、参加 したりしたこと）と結び付 けたり、「今日習ったこと を○○に役立てたい」など の自分の生活や将来と結び 付けたりすることで、「な るほど」「そうだったん だ」と深くわかるようにな ります。その結果、同じよ うな課題にあたった時に 「前にやった方法を使え ば、できるな」という自信 をもって取り組めたり、様 々な場面で使えるようにな ったり、様々な方法をため す力がついたりします。

玉小では…玉小キャリアパワーの活用

1・4年生	玉小キャリアパワー	5・6年生	玉小キャリアパワー
○自分の学びをつなげる	玉小キャリアパワー なかよしパワー・かかわる力	○自分の学びをたしかめる	玉小キャリアパワー がんばりパワー・見つめる力
	なかよしパワー がんばりパワー		がんばりパワー・見つめる力 ○わかったこと ○がんばったこと ○できるようになったこと ○わからなかったこと ○きもんにもらったこと
	チャレンジパワー やくだてパワー		チャレンジパワー・挑戦する力 ○もっと知りたいこと ○やってみようこと
	なかよしパワー かかわる力		なかよしパワー・つなげる力 ○せいかつにいかせようこと ○やくだちそうなこと ○まなぶまえといまどちがうこと

先生たちで話し合
って、今は学校行事
などのふり返りに使
っている【玉小キャリアパワー】（教室に貼ってあ
りますね）を2学期から授業のふり返りにも使って

いきます。4つのパワーの1つ1つにふり返りのポイント・見方をつけています。

先生から「今日は○○パワーでふり返りをしよう」「今日は△△力でふり返りをしよう」と
お話があるので、この授業での自分の学びを書いておきましょう。このふり返りを積み重ねる
ことで、成長につながります。